

令和7年度研修 評価

研修名	訪問看護従事者研修会（管理編）公開講座					
領 域	訪問看護	会場	新潟県看護 研修センター	受講料	会 員：2,200（1,100）円 非会員：6,600（3,300）円	
対 象	募集数	応募数	受講数	会員数	非会員数	
	第1回 20名	9名	10名	9名	1名	
	第2回 30名	15名	17名	16名	1名	
	第3回 30名	13名	12名	11名	1名	受講延べ39名
日 時	令和7年6月14日（土）9:30～16:30 令和7年7月19日（土）9:30～15:30 令和7年10月4日（土）9:30～12:30					
ねらい （目的）	訪問看護ステーション運営に必要な知識や技術を学び、実践に活かすことができる					
講 師	1 柏木聖代 東京科学大学大学院保健衛生学研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学分野 教授 2 加藤明子 加藤看護師社労士事務所 代表 特定社会保険労務士 看護師 医療労務コンサルタント 3 渡邊尚之 渡邊会計事務所 所長 公認会計士 税理士 看護師 4 平原優美 公益財団法人日本訪問看護財団 常任理事 あすか山訪問看護ステーション統括部長 在宅看護 CNS					
内容・方法	○講義 1日3～6時間 講義、グループワーク、演習					
結 果	○受講割合 第1回 50.0% 第2回 60.0% 第3回 43.3% 平均 51.1% 【達成・未達成】 ○アンケート結果 ・理解度 99.9% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度または研修目標の修得度 100% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・ヒヤリハット報告の判断基準の整備など、今後の課題が見つかった。 ・スタッフと共有してリスクマネジメントを見直し継続させたい。 ・経営の視点の詳しい見方を知ることができた。 ・収益をあげるだけでなく、スタッフのモチベーションを上げられる提案や目標を具体的に示していきたい。 ・看護の質の向上のために、スタッフの育成・開発をしていくこと、また自分自身を理解することが大切だと知ることができた。 ・看護を取り巻く情勢が日々変化する中で、訪問看護の質の向上や人材育成など、管理者として果たすべき役割について学ぶことができた。 ・すごく前向きになれた。制度を知ること、自分自身やスタッフ、自施設を守り、向上していけるといい。 ・資料が見にくい部分があった。 ・法律関係の話が難しかった。					

	・もう少し具体的な経営が聞きたかった。
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した、達成しなかった】 ・アンケート結果より、講義に対する理解度、達成度、修得度は高く、受講者自身の事だけでなく、スタッフや組織に対する課題を見出す事ができている。 ○総括 ・リスクマネジメント、労務管理、経営など難しい内容であり、関心の有無が個々によって分かれる研修であった。 ・組織の問題点や課題がわかり、具体的にどう運営していくのか、実践できるのか、実践してどうだったのかフォローアップが必要。
課 題	○全講義で受講割合は昨年より上回ったが、50%前後と低い。 ○自施設の運営、管理について職員全員が考え参加しようとする意識づけができるような、また参加しやすいような講義内容の検討が必要である。 ○令和8年度はスキルアップ編として統合する。
担当者	訪問看護推進委員